

紙 風 船



◆ 指導主事訪問がありました(6年生;9月11日)



北浦教育文化研究所のM指導主事をお招きし、6年生が算数の学習に一生懸命取り組んでいる様子を参観していただきました。

「データの特ちょうを調べて判断しよう」という単元の学習で、平均値や中央値、最頻値などを用いて、問題に対する結論が妥当であるか考察するという内容でした。6年生は一人一人がじっくりデータと向き合い、集中して考えていました。指導主事の先生からも、「課題に集中して向かっていて素晴らしい。ペアやグループの話合いでも、自分の考えをしっかりと伝えることができている。」と6年生の頑張りを評価していただきました。データを読み取り考察する学習は、以前は中学校数学の内容でしたが、その一部が小学校6年生に下りてきました。自分の考えを理由や根拠を明らかにして説明することは、算数に限らず他教科の学習でも取り組んでおり、1・2年生も、「わけは、～だからです。」と理由をつけて発表できるようになってきました。相手に分かってもらう(納得してもらう)ように話すことは、日常生活の中でもとても大切なことですので、今後も取組を継続していきたいと思えます。

◆ 小・中合同クマ学習(9月12日)

県自然保護課の方を講師にお迎えし、中学生と合同で「ツキノワグマの生態と対策について」の学習会を行いました。はじめに、クマの生活サイクル、食べ物や排泄物の特徴などについて教えていただきました。次に、クマとの事故を防ぐ3つのポイントについて詳しく学習しました。①クマにバッタリ会わない、②クマに会ったらゆっくり後ずさり、③もしものときは、避難する/頭を守る、が3つのポイントだそうです。①については、音などを出して人の存在をアピールし、クマに人を避けてもらうことが大事。②については、クマはすぐに襲ってくるわけではないので、まずは落ち着くと。③については、もしもクマが近付いてきたら、「助けを呼ぶこと」「建物などに逃げること」「頭を守ること」が大事、だということを学びました。講師の方は、「今年は去年よりも、山に食べ物が



豊富にあるので、クマの目撃件数が減っている。しかし、近年の傾向から、いつどこでクマに遭遇するか分からないので、油断は禁物です。」という話も伺いました。また、「大雨や気温上昇などの気候変動も、クマが里に下りてくる原因の一つになっているのではないかと考えています。」とも仰っていました。

左の写真は、クマの毛皮に触れている様子です。子どもたちは、「(毛が)かたい!」「あまり臭くない」「爪がすごい!」などの感想を口にしていました。確かにクマの爪は鋭くとがっていて、これで引っかけられると…少し恐さも感じました。

今日の学習を日常生活に生かしていきたいものです。

◆ 「ひのきっこの活躍」... おめでとう!

- 第22回東北学童軟式野球新人仙北市予選(8/24)
 - 第3位 西木 Jr.B.C (Y.Wさん、R.Aさん、A.Tさん、N.Tさん)
- 第14回秋田県小学生新人野球大会仙北支部予選(8/31)
 - 準優勝 西木 Jr.B.C (Y.Wさん、R.Aさん、A.Tさん、N.Tさん)

※スポ少等での子どもたちの活躍をお知らせいただければ、学校報で紹介したいと思います。スポーツに限らず、〇〇コンクールなどの芸術・文化的な大会等での活躍もお待ちしています。